

70.844 11 de junio

DIRECCION:
USPALLATA 981
U. T. 23-7061, B. O.

EL "ARGENTIN DJIJO"

AÑO XV

CORREO ARGENTINO
FRANQUEO PAGADO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

大阪商船會社指定
三等乗船切符仲次所
大阪商船會社船々客御送迎と就
ては懇切迅速に御便宜を御取計
申可候間御遠慮なく下記へ
御用命賜度候



船舶御用商
森川塩澤商店

PASEO COLON 470
U. T. 33-4171
U. T. 33-4808

OSAKA SYŌSEN KAISYA
Av. Roque Saenz Peña 616 U. T. 33, AVENIDA 1051 - 1052 - 1053 - 3565
2º PISO COOPERATIVA CENTRAL 2047 BUENOS AIRES

●北米パナマ線由日本行(年十四回)横濱まで 四十七日 [A型] 上りのすゝめ丸
●南米パナマ線由日本行(年十四回)横濱まで 四十七日 [B型] さんとす丸
●アフリカ線由日本行(年十四回)横濱まで 六十日 ぶらぶら丸 ぶらぶら丸 ぶらぶら丸
●北緯丸 ぶらぶら丸

●小兒運賃 旅券記載生年月に依り満十二歳未満「半額」満七才未満「四分
ノ一」満三才未満無賃、満四才以上亞細亞生れの方は「亞細亞旅券」必要
●乗船支拂 日本行運賃は全部米幣貨建です。一等は乗船切符買求め當日の
換算率、二等は本船入港當日の換算率(何れも自由市場率)に依り運賃にて
と拂ひ願ひます。一等は定額運賃(割)の出國税が掛ります。(二等は無税)
●歸國御手續 旅券面に日本領事の蓋印が要ります。三等客は乗船前乗船中
の健康診断を受け下さす。切符は本船入港當日から出帆前日迄發賣
●日本より御呼寄の便法當地にて乗船支拂あれば乗船券引換証書上ま
す。但し移民局發給入國許可証及日本領事館發給呼寄証明書持参下さい
●鐵道省乗車券發行 日本第一港から本船切符の上陸港迄鐵道省汽車乗
の協同船便の代りに乗車券贈呈
●弊社内航線切符發行 弊社内航線寄港地を目的とする、場合參等内航線切
符贈呈(但し沖繩ハ參等五割引)

貨運松乗

船名	種類	噸位	運賃
南緯丸	A型	米貨 四五〇噸	特三(洋)一五七噸
北緯丸	B型	米貨 四〇九噸	特三(洋)一四六噸
南緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸
北緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸
南緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸
北緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸
南緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸
北緯丸	全	米貨 三三三噸	特三(洋)一四三噸



亞細亞時報

DIARIO JAPONES

Director: T. MIDZUNO
Redacción: USPALLATA 981
U. T. 23, Buen Orden 7051
BUENOS AIRES

TARIFA DE SUBSCRIPCION
Un mes \$ 2.-
Tres meses " 6.-
Seis meses " 12.-
Un año " 24.-

YAMASHITA LINE

FAR EAST-NEW YORK-SOUTH AMERICA SERVICE

AGENT

CHADWICK, WEIR & Cía.

25 DE MAYO 516

U. T. 31-0026-29

"K" LINE

KAWASAKI KISEN KAISHA Ltd.
K O B E, J A P A N

Representantes
J. E. TURNER & Co. S. A.
RECONQUISTA 325 • U. T. 31-3491-3

キリスト教青年ホーム
ペンシラン 定期又は一時的
聖書の研究 毎土曜日午後八
時より御来会自由
郵便物取次 奉仕致します
守屋保吉

Caseros 1983
U. T. 23-9872

Semillería EL COLONO

ABONOS :: HORMIGUICIDAS :: INSECTICIDAS
IMPLEMENTOS AGRICOLAS
SEMILLAS Y PLANTAS

J. S. GAGO

IMPORTACION DE SEMILLAS
EN GENERAL

HERRAMIENTAS PARA JARDINES

GENERAL HORNOS 58

U. T. 23 BUEN ORDEN 7101

BUENOS AIRES

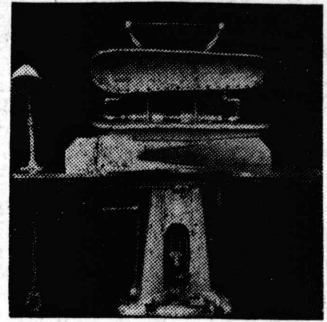
PIDA CATALOGO GENERAL

パンコ
ムシバ
競賣品
買へば
みんな安
くて良い
物ばかり
AV. DE MAYO 1073

TALLER
MECANICO
de G. GONZALEZ
プラシナヤ機
カルデーラの
修繕其他
SAN JOSE 220
U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カビルド街一七七八
電話(五二)〇九三三
守屋利夫
CABILDO 1178
U. T. 52-0933

邦人間唯一の
染色工場
設備完全
仕事入念
齊藤染色工場
BELGRANO 3061
U. T. 45 - LORIA 5442



新案
ミニヤ機
T日Pト印
カルデーラセント
リテラ・ネエヤ
のプラシナヤ機
製造販賣修繕
高橋秀雄
Av. La Plata 1416
U. T. 60 - 9421

自宅出張撮影
複写引伸し
高真師佐藤貞則
SALTA 158
U. T. 37-3704

TOYOKEN
25 DE MAYO 356
U. T. 31 - 0739
東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
井物一切類
畫食
配達致し
相変らず
引立を

Masajista Japonés
SEGUROLA 1992-6
U. T. 67-4591
日本式マツサージ鍼灸
リウマチ、神経痛、呼吸器病
胃腸病その他一切の疾病、幼
日本膏薬は西坂商店でし
取次取ってゐます
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1933-34
BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"
Solicite informes
Cia. Brunswick Sudamericana S. A.
1894 - CANGALLO - 1900
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL
TACUARI 580
U. T. 34 - 1344
親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理仕立、井物一切
日本菓子製造致す
の宴会に應じます

だ井物一品料理仕出し
すし、おぼろ、焼物、煮出し
御婚祝、御誕生の祝儀
御注大に應じます
松田清市
BOLIVAR 1556
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA

カフエ、イパー
レストラント用の
マル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
ZANUSSI
月賦の御註文に
應じます
BERNARDO BRAUN e HIJO
CORRIENTES 4349
U. T. 54, Darwin 4111

A L M A C E N
NISHISAKA
AUSTRALIA 1101
U. T. 21-2915
醤油味噌
澤登香物 製造販賣
日本食料品輸入販賣
船中万應油
値段勉強配達迅速
西坂實業商店

Ernesto Coco
15 DE NOVIEMBRE 2335
U. T. 23 - 2835
ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御最良を蒙つて居ります

領事館、銀行、船会社と近く
御乗船御下船の便
御下宿
御旅館
地方へ出武の節は是非御寄願
昭和館
25 DE MAYO 330
U. T. 31 - 5145
BUENOS AIRES

"KEROGAS"
Ing. F. STUCKLER
U. T. 51-3252 PACHECO 3260
最新型ケマド・レス及び
タンク・ス・ア・プレシオン
製作販賣
諸種ケマド・ル修繕・部分品
販賣、日本人間に多数顧客
左有し、仕事は入念迅速・電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO
NIPPON
SANTIAGO DEL ESTERO 975
U. T. 23 - 7864
刷印版活文西
堂ニホツニ
種各他其、刺名前封等便
寸寸上款命用印物不、少多
総 川 北

我空軍連日の爆撃で

文字通り死の街と化す

一百万の人口八万に激減

東廣の怖恐

(香港九日) 我空軍 手裏上不可能に陥つてゐる、
の広東方面軍軍勢は 市中は百二十万と称せられ
爆撃は連日続行され 人口は概算八万に激減し
てゐるが、七日午前 彼等は桂丁路、防空隊員のみ
八時半の爆撃の結果 市の街は入り通りなく大空
黄砂散(粵漢鉄道) 死の街と化して去つてゐる、
兵隊)は全滅し、三 所要はほとんど壊えつた
廣建の憲兵司令部は 高射砲や高射機銃は何れも
弾口を空高く突き上げて空襲
大分崩潰し去り、広東軍は 警報後敵分の後、我が機隊
米野軍を供給する合作者大 隊が市の上空に現はれるや
マキエットの全滅、増歩の新電 全市は物憂い音を立て、防
力敵は大分崩潰、同所の各 空襲警報の中は包まれば百
軍用倉庫も破壊され、四電カ 雷の落つるが如き感も年へ
敵は危く難免れて逃げ登電 津浦線北の近代戦が連日
可能であるが市中の電線が不 更り展開されてゐる、
タにぶつてゐるため送電は

上海の滬江大学(謎)

我方米國に返還に決定

(東京九日) 我軍を襲はる支那軍が攻撃的施設を構築して
る上海の滬江大学並にその他米國人所有建造物を同地
台領後軍手準備の必要上利用してゐるが、最近に至
り同地区一帯の治安も回復するに至つたので、我方は今
滬江大学を米國側に返還し決定し、同下準備中だが、右
に關し外務省では九日左の如き情報部長談を發表した。

情報部長談

昨夏戦で匪人の之を交戦目的に利用
火の上したことは周知の通りである
海附近に沈没するや支那軍は、米國教會財産たる南北街
迄早く同地附近の諸施設を占 在るパブ、レストラン、ミッシン
據しこれに對し鞏固なる防禦 スクールも亦その例に準れず
陣地並に攻撃的施設を構築し 八月以來支那側の利用する所

とぶつてゐるため、我軍の上海 けて現地軍手準備の必要によ
台領後は台領地区に於ける軍 理後米國側の返還方を
準備の必要上我方は於て文 求ありたるはも拘はらず
を兵器基地として使用して 意圖し得るか否かあり
たのであるが、先般米國地方 今般現地陸海軍當局
一帯の治安も漸くその緒はつ には於て軍事上至大の不
きたるに鑑み六月一日我方は ざる忍んで速かに之を撤
同學校を米國側に返還し完了 返還すること決定した
し、更に右と同様支那軍 身であるが、右撤還は諸般の
が台領利用したる滬江大学(準備の都合もあり大體一ヶ
海大学)に關しては我方とし 月以内は完了すると思はれて

敗退支那軍の暴挙

又々黄河堤防を決潰す

〇〇地獄苦の多数支那農民

(開封九日) 開封一帯の防衛は 口進入して開封一帯を水浸し
當つてゐる支那軍は東北南二 口せんとり竹竿は出でた、
方より決死の如く進撃する重 彼等は皆北支に於て同様
軍の威力は押し難しと見こか 劣手級を殊り多数支那農民を
開封放棄し先方支那黄河堤 文字通り進撃の苦しみは
防潰潰の暴挙を遂げ至つた れたが、今又黄河兩岸の農
即ち五月下旬より約一ヶ師の 民も同じ苦痛に突落さんとす
兵と附近諸農民を強制し るもので曲國民を散らす地獄
て開封北方の黄河堤防破壊は 若し進退む支那軍は敗戦の
着せし開封陥落直前には延長 ためとは預へ開封諸外人も
約二軍に亘つて決潰せしめ而 其の非人道報り口憤慨してゐる。

國府各機關愈々奥地へ分散

武漢三鎮の人心動搖暗黒状態現出

(上海九日) 國民政府は漢口の 府各機關は奥地散所は分散
危機愈々切迫せりと云ふ九日 され名実共に地方政權は蕪
漢口に残留する政府各機關は すること、あつた、
對し四川省重慶及び雲南省昆 明にそれと移すべき旨の命
令を發した、この移転により國 民は極度の恐怖と混亂を起し

漢口より逃出すものも前線よ
り漢口へ流れ込む避難民と
加入れられ今や最後の日の
到来を想はせる暗黒状態を
現出してゐる。

支那事変處理の

關係閣僚會議

毎週一回開催

(東京九日) 近衛首相は今回 の三閣僚が崩壊して支那事変
の内部改選を機軸に支那事変 處理に關し閣僚關係會議を
吉野外相の速行に促進する について重要討論を行つた、この
大方針は決定、その第一着手 として九日午後一時半より吉
相官邸に於て近衛首相を中心 に宇垣外相、池田首相、高橋
内地北京直通連絡切符制度

内地北京直通連絡切符制度

鉄道省愈々八月一日から実施せん

(東京九日) 北支と日本を繋 急行は乗れば七十餘時間の後は
ぐ交通路の開拓は治安回復と 因釜連絡船で乗換へまする左
共に漸次重要と見做してある け釜山発の大連列車がその
がこの経路は省運輸局が内地 釜山、北京取に迂り込むこと
北京間直通連絡切符制度が立 ち、手荷物扱ひも現行の内地鉄
乘され愈々来る八月一日から 道と路と同率、貨物運賃も一
実施される運びと云つた、この 率は統一され凡ゆる繁雜さが
結果従来東京、釜山、奉天、北 一律に解消する筈である、切
京の鉄道旅行には圓鉄、朝鮮 符の種類は片道、往復、遊券
鉄道で一枚、消鉄で一枚、支那北 の外、団体も認め学生は十人
年鉄路で一枚合計三枚の切符 以上、普通は二十人以上三割
を買はねばならず手荷物、貨 乃至五割の割引をする外、通
物などの運賃も区々でその 用三ヶ月の東亞遊覽券なども
上度々乗換へせねばならぬか 発売される、尚ほ東京、北京間の
つたが、今回の案では全国各取 旅客運賃は一等百二十七円、二
から北京行の一枚切符が売出さ 等八十六円、三等四十七
れ東京午後十一時より、開行 六円四十四銭である。

我海軍管理下に

厦門税関近く開

(厦門九日) 我海軍の台領以
來開領中右の厦門税関
は税関機構改訂の上、帝國
海軍管理下に近く開關は
決定、内閣総領事よりシヨ
ルダン税関長はその旨七日
通告した

ソ聯の度重なる不信

我が北洋漁場行漁夫輸送に對し 航海証明下附を遷延拒否に出る

(東京十日)我が北洋漁場行漁夫の輸送に對しソ聯側が不信の態度を顯し、航海証明下附を遷延拒否に出る。我が漁船がソ聯領海に侵入するに當り、ソ聯側は航海証明下附を提出せしめ、これを審査するに要する所あり。然るにソ聯側は、我が漁船の航行に對し、何等の制限もなしと主張するが、我が漁船は、ソ聯領海に侵入するに當り、ソ聯側の許可を得なければならない。ソ聯側は、我が漁船の航行に對し、何等の制限もなしと主張するが、我が漁船は、ソ聯領海に侵入するに當り、ソ聯側の許可を得なければならない。

全國の農学校 夏期休暇廃止

(東京十日)九日、農省で開かれた全國農学校校長會議の席上、農省農務局長は、農学校の夏期休暇を廃止することを決定した。農省は、農学校の夏期休暇を廃止することにより、農学校の教育効果を高め、農学校の運営を円滑にするため、夏期休暇を廃止することを決定した。

内山公使一行 アスニシオン出発

内山公使一行は九日、アスニシオンに到着した。内山公使一行は、アスニシオンに到着後、アスニシオン市長と謁見し、アスニシオンの発展と日露親善の促進について話した。内山公使一行は、アスニシオンに到着後、アスニシオン市長と謁見し、アスニシオンの発展と日露親善の促進について話した。

中村米平氏送別兼 福岡領事將棋会開催

福岡領事は去る六日、中村米平氏を送別した。中村米平氏は、福岡領事に在任中、福岡の発展と日露親善の促進に努めた。福岡領事は、中村米平氏の送別式を開催し、中村米平氏の功績を称賛した。福岡領事は、中村米平氏の送別式を開催し、中村米平氏の功績を称賛した。

軟式野球の練習試合 明日染洗組合対東商會

軟式野球の練習試合が、明日、染洗組合と東商會の間で行われる。この試合は、軟式野球の普及と発展を目的として開催される。染洗組合と東商會は、軟式野球の普及と発展を目的として、この試合を開催する。

武市の藝術家連立 日本料理でもてます

武市の藝術家連立は、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。

將に展開されんとす 鄭州攻防戦に就て(四)

鄭州攻防戦は、我が軍の優勢を顯した。我が軍は、鄭州攻防戦で、我が軍の優勢を顯した。我が軍は、鄭州攻防戦で、我が軍の優勢を顯した。我が軍は、鄭州攻防戦で、我が軍の優勢を顯した。

武市の藝術家連立 日本料理でもてます

武市の藝術家連立は、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。

軟式野球の練習試合 明日染洗組合対東商會

軟式野球の練習試合が、明日、染洗組合と東商會の間で行われる。この試合は、軟式野球の普及と発展を目的として開催される。染洗組合と東商會は、軟式野球の普及と発展を目的として、この試合を開催する。

武市の藝術家連立 日本料理でもてます

武市の藝術家連立は、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。武市の藝術家連立は、武市の発展と日露親善の促進を目的として、日本料理でもてます。

居間四畳、湯殿、其他完備、正面に庭あり日本人家庭に好適「チヤカリタ」地下電車の便あり、要面談

Seasar Garcia 3238 (Colgiales)

ホフマン印中古洋服プラチナ機染出し

高橋秀雄

アベニグアラダ街一四一六(十六〇カバート)九四二二

ラキリアム・ブレン
ソシエベルド・カネ
代理人
グイセンテ
シリアエロ
和 優良球根
種 各種販賣
入 輸直

RIVADAVIA 5871
U. T. 83-5982

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其位の御用命を願
大工指物師 山本 玄
Av. del TEJAR 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

歯科医療の
御相談に應じます
日本歯科 山本実雄
医学士
應待時間 午前八時~午後十時
市内エントレオス街九七三
テラ・ロ・ニ・ニ・ニ・五五二

MEDICINAL NEWS
28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月々私物の便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ツ 時 午前九時~十二時
同 午後三時~八時
。日曜祭日は午前中

SEMILLERIA
Juan Calé & Cía.
CASA MATRIZ
123 - PUEYREDON - 123
U. T. 47, CUYO 0065 y CUYO 0066
COOP. TEL. 1137, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 8175
U. T. 82, Mitre 1954-C T. 323, Oeste

Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425
U. T. 47 Cuyo 8098-C T. 1105, Centr

P A R F I C I O S 9 6
U. T. 23 (B. Orden) 5735



JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34 - Defensa, 1687

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 35, Libertad 1392

品買本位
仕立入念
八十立ペツ
より各種
トロー
高等
洋服店

この店告切抜き
御持参の方には
一割引致します



玩具卸買求むは
廉價・在庫品豊富の
トロー玩具店
日本製玩具あり
御申込次第型録進呈

東京一科
医学士 **國分鉄藏**
左記に於て歯科医療の
御相談に應じます
ドクトル エドアルド・キンタニア 歯科医院
市内エドラス街六九二、四階
テラルメントN電話三三三三三三〇

Franz y Fritz
DANCING
348 PARANA 350

一階に新設致しました美しい
冬の花園の御披露致します

夜の部
集めたブリエテを二回開催
百名の麗人ダンサー!!
卅名の藝術家登場!!
日本人のモーションがサービス致します

ブリエテは毎日午後六時半より
小ルンチ附コペティン一ペソ
樂團は有名なカナロのオルケスタ
西班牙及び各國の藝術の粹を

式ンマフオ舊新
賣安大機ヤチンラブ



SALTA 431
U. T. 38, Mayo 0999

機ンマフオ るな飲無全完の古中
すまし致賣販てに拂支件條好安格
(可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホフン式プランチヤ機
並にカルテラの修繕取付
一切廉價に引受けます
ホフン会社
指定機械師 トリビオ・ゴメス

TELEFONO PARTICULAR
U. T. 23, B. ORDER 4564

CHACABUCO 896
U. T. 34, DEFENSA 1192

TALLERES GRAFICOS
A. García & Cía.

PERU 1746
U. T. 23, Buen Orden 7208
Buenos Aires

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su Director

Dr. A. GODEL

Médico Cirujano

最新式獨乙療法

淋病—根治療法
梅毒—六〇六号、九一四号

婦人病心臓胃腸 各科専門
肺腎臟神経系統

◎日本人方には初診無料

X光線、デアアルミ、血液検査
診察日：自午前九時 至 午後三時
自午後三時 至 九時
日曜祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ
セメント充填五ベソ
金冠 拾五ベソ
金入歯 拾五ベソ
総入歯 六拾五ベソ

診察時間
午前九時より
午後八時まで

DR. E. BULJEVICH
BDO. DE IRIGOYEN 1404
U. T. 23 - (B. O.) 0279

CAFE JAPONES

de K. UCHINO

LAS HERAS 667

TUCUMAN



ツクマン市
内野喜吉

GRAN TALLER "EL ASAHI"

de MIYAZONO Hnos.

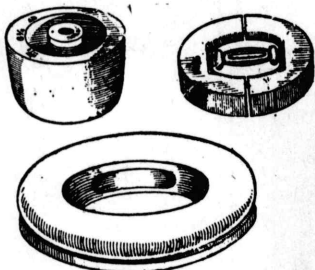
Casa Matriz:
CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4366

Sucursales:
BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159
RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738
BUENOS AIRES
CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46
SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

LUIS GORI Hnos.

LIMA 1029

U. T. 23-2897



帽子木型製造工場

チントレリアの仕事の
上下手は型の善悪
に依ります
仕事を上々にさせる
には良い型を使はね
はふりませぬ
弊工場はマデラプラカ
マデラコラ、アルカゴ
一本、製等流行型あり
りゆる型を最底の市
場で供給し、田舎から
の御注文にも應じます

KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)

M. SEITZ & Cia.

Talleres:
CHARCAS 4511
U. T. 71-9998

ブランチャ機
カルテラ用のケマ
ドレステデケロセン
製作販売修繕取
付交換引受け
当方はカーサボル
カン以未御馴染の
独り人で日本人間に
数多の顧客を有し
仕事は入念迅速・電
話で御一報次第至
急参上致します

Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4
U. T. 47 - 5329

診察
午後五時
八時

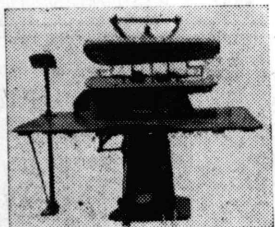
第二心臓肺臓喘息
療養所
呼吸器
胃腸
一医

FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cía. HOFFMAN

Constitución 3229

U. T. 45-0294



ブランチャ機並にセン
トリアガ製作販売

CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武二
久松純雄
竹内武義
加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526

BUENOS AIRES

Casa MALIS

DEFENSA 717
U. T. (33) 4382

カフエー店
就労用衣類の
御用命は弊店へ
サコネリコ ミン
黒チヤトコミンサ
黒サコ ハン
上等モキスタ



GRAN
MERCERIA
Y BAZAR

Casa fundada en el año 1923

PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA

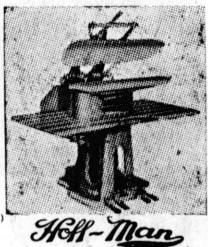
Ultimas Novedades Para la Moda
Creaciones en Articulos Japoneses

SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優良品
廉価販売

呉服大物・小同物
雑貨・最新流行婦
人用品及び御家庭
用品一切小賣店
同胞に限り一割別
公認代理人
林甚次郎

CARLOS PELLEGRINI 1153
U. T. 41, Plaza 1308



Máquinas Hoffman

BELGRANO 525

U. T. 34 - 1497

BUENOS AIRES

オフマン式フランチャ機及
同会社製附屋品販賣店は武
市に於ては当店一軒のみです

TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



新品中古大型小型各種
カルテラアパホル販賣

“EL ARGENTIN DJIJO”

PERIODICO JAPONES FUNDADO EN 1924

CORREO ARGENTINO
FRANQUEO PAGADO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

Buenos Aires, Sábado 11 de Junio de 1938

SECCION CASTELLANA

Dirección: Uspallata 931. U. T. 23-7051

Es increíblemente grande el desconocimiento de las cosas del Japón entre los argentinos

La distancia que separa el Japón y la Argentina es grande, y sus relaciones son bien recientes; es explicable que no haya aún mucha comprensión entre ambos pueblos; pero, a pesar de ello, existen en la Argentina, personas estudiosas y capacitadas para juzgar imparcialmente las cosas, sin prejuicios que pueden ver la verdad de lo que sucede en el lejano Oriente. Hay muchos, por otra parte, que no tienen la oportunidad de conseguir informaciones indirectas o de segunda mano, que en general son de carácter tendencioso, puntos de vistas de hombres representativos de países que tienen intereses opuestos al del Japón y, por ende, tratan de discriminarlo en todas formas, quedando, por lo tanto, mal informados, confundidos y sin comprender, algunos de los cuales manifiestan con franqueza su incompreensión.

Pero la mayoría de estas últimas personas, permanecen semi-informadas y luego, al enterarse de las noticias o comentarios de los diarios locales, cuyos escritores saben tanto como ellos, que repiten lo que han leído en ciertos diarios europeos o americanos, llegan a convencerse de tales informaciones inexactas, en perjuicio propio y del Japón.

Por desgracia, la mayoría de los diarios europeos que se leen en Buenos Aires, traen informaciones sobre el Oriente, narradas de acuerdo con la convniencia europea; aprovechando las informaciones falsas de origen chino, que las repiten como verdaderas, para hacer daño al Japón, cuyo progreso miran con recelo y envidia.

De manera, pues, que los responsables de tal situación son los diarios y revistas que publican informaciones dudosas o inexactas, muy especialmente aquellos que lo dan a luz a sabiendas que son injustas, incorrectas o equivocadas.

Pertenece a esta categoría de noticias la que acaba de publicar “La Razón” en su número del miércoles 8 del corriente, acerca del general Minami, un cúmulo de cosas imposibles.

Es realmente lamentable que “La Razón”, diario que generalmente está muy bien informado, aunque con frecuencia confunde el Imperio Celeste con el del Sol Naciente, que es como si confundieran el Brasil con la Argentina, valiéndose de informaciones europeas y americanas haya dado semejante publicación, llena de errores fundamentales.

“La Razón” que oportunamente se encargó de dar minuciosas publicaciones sobre la cuestión manchuriana y el incidente chino del presente, declaró en el artículo citado, que el general Minami creó el Manchukuo y rompió las relaciones con China, cosas que son completamente inexactas.

Tal vez no se haya dado cuenta el autor del suelto, pero en su crudo comentario acerca de la política japonesa, no sólo se manifiesta el absoluto desconocimiento de la condición del Japón, sino que ofende al mismo Emperador del Japón, al decir que el general Minami es el eje de la política japonesa. Ofende gravemente al general Minami militar cuya cualidad y corrección es honra y orgullo del Japón.

Al rectificar estos errores de “La Razón”, no

lo hacemos con rencor, porque, como decimos más arriba, es cosa inevitable donde abunda la influencia europea, que, al decir de Thomas Mann, no mira para nada la justicia ni la verdad.

Tomamos nota, empero, de que tenemos mucho que trabajar para hacer que el mundo nos conozca mejor.

Pero nuestra labor no es difícil, porque el pueblo argentino conserva sano sus ideales y sabe distinguir la verdad y lo falso.

Europa ha perdido todo prestigio moral en el Oriente

Con su hipocresía adornada con bellas palabras para ocultar la fealdad de sus acciones, que las autorizadas manifestaciones de Thomas Mann confirman, Europa ha perdido ya su prestigio en el Oriente.

Una información de Washington dice que los Estados Unidos desea que se ejerza presión conjunta en Tokio a fin de evitar el bombardeo de las ciudades fortificadas chinas por las fuerzas expedicionarias del Japón que tiene por misión implantar allí el estado de orden.

Europa sabe que las ciudades que las fuerzas japonesas atacan están bien fortificadas, y los nipones no atacan sino la zona militarizada o cuarteles de soldados, depósitos de armamentos, etc., pero pretenden dar crédito a los chinos que propagan la noticia de que los japoneses bombardean ciudades indefensas, atacando a los niños y mujeres — informaciones falsas que para ellos valen tanto como la verdad, según explica el autor de “Advertencia a Europa”.

Pero, la verdad ha de triunfar en el Oriente para luego volver al Occidente como ha sucedido en el pasado. Nada se resolverá en el Extremo Oriente, si no se basa en la verdad y en la justicia, para cuya implantación lucha el Imperio del Sol Naciente.

La ruptura de las relaciones entre los generales Chiang-Kai-Shek y Li Thung-Chen, que parece inevitable, advierte al fin la verdadera situación china agotada financieramente, que es desesperante.

Las promesas dadas por las potencias europeas al caudillo chino, fué el factor principal de esta aventura china que coloca a esa nación en un estado lamentable.

Los hombres dirigentes de China, honestos y patriotas, sabrán apreciar esta lección y meditarán sobre el plan del porvenir para no arruinar por completo a la vieja nación, que puede llegar a ser respetable.

Condiciones de Europa

Por THOMAS MANN

Transcribimos a continuación algunos extractos del mensaje de uno de los principales hombres de letras y pensador que tiene Europa, titulado “Advertencia a Europa”, publicada en castellano por la Editorial Sur:

La increíble bancarrota de la cultura, el relajamiento moral que nos vemos obligados a comprobar con relación al siglo XIX, no son resultados de la guerra, aunque ésta los haya acentuado. Su origen es más lejano. Se trata de un fenómeno que nació con nuestro siglo. José Ortega Gasset, en su libro “La Rebelión de las Masas”, ha demostrado, de excelente manera, que es preciso buscar la razón principal en la ascensión de las masas y en su llegada al poder.

Es trágico consignar que la crisis de nuestro tiempo viene de la generosidad del siglo XIX, aquel período tan fecundo cuyos beneficios, en el orden científico y social, han permitido que se triplicara la población europea. La crisis que amenaza hacernos retornar a la barbarie tiene sus raíces en la ciega generosidad de aquel siglo. Ortega y Gasset describe muy bien la invasión de las masas en una civilización a la que avasallan como una fuerza de la naturaleza. Las masas, en efecto, nada saben de las condiciones infinitamente complejas que presupone esa civilización; por ende, en lo mínimo se cuidan de ella. Sea prueba de ello su actitud frente a la democracia liberal, a la que, sin embargo, deben todo: la abaten sirviendo a ella. Hasta es muy posible que, pese a su amor cándido e infantil por la técnica, lleguen finalmente a destruirla. Desprecian el idealismo y todo lo que en él se arraiga es decir, la libertad y la verdad. No comprenden, pues, que la misma técnica es el resultado práctico de una búsqueda libre y desinteresada.

El siglo XIX, que tenía fe en la duración de sus conquistas, no hubiera podido concebir esta regresión como cosa posible. Ha ocurrido, sin embargo, por una brusca nivelación, hasta llegaría a decir por un retorno a la mentalidad primitiva. No sólo se ha llegado a la incapacidad para gustar el matiz, sino que se le persigue con un odio hurraño. Si todo esto nos espanta tanto es porque vemos en ello la señal de que toda catástrofe será posible en adelante. Los más altos valores no están a al abrigo de la destrucción, y tampoco lo está, quizá, el destino de nuestra civilización por entero. El hombre moderno fué moldeado por impresiones violentas que lo turbaban y lo embriagaban a la vez, y es la víctima de sus asaltos, sin cesar renovados. La evolución vertiginosa de la técnica, sus triunfos y fracasos, el deporte, los récords sensacionales y ruidosos, la importancia excesiva acordada a los astros que fascinan a la multitud, los campeones de boxeo cubiertos de oro a quienes va a aplaudir una concurrencia innumerable; tales son los trazos más salientes de un retrato de nuestro tiempo. Es preciso sumarles la decadencia y la muerte de las grandes ideas morales, como la cultura, el espíritu, el arte, el pensamiento.

Entre todas las ideas del mundo europeo que cree haber abatido definitivamente, es decir, la verdad, la libertad, la que más odia es la verdad. La reemplaza por el “mito”. Esta palabra desempeña en su vocabulario un papel tan importante como el heroísmo.

Se ha hecho una filosofía aboliendo toda diferencia entre la verdad y la mentira. Ha hecho triunfar en Europa un pragmatismo vergonzoso que niega al espíritu mismo por amor al provecho, que cumple o aprueba sin escrúpulos todos los crímenes, si sirven a sus fines. No vacila en hacerse falsario, porque la falsedad, si le sirve, es para él tan preciosa como la verdad.

Se ha hecho una filosofía aboliendo toda diferencia entre la verdad y la mentira. Ha hecho triunfar en Europa un pragmatismo vergonzoso que niega al espíritu mismo por amor al provecho, que cumple o aprueba sin escrúpulos todos los crímenes, si sirven a sus fines. No vacila en hacerse falsario, porque la falsedad, si le sirve, es para él tan preciosa como la verdad.

H. KATO
Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería
HERRERA 2097 y 2111 U. T. 21-1841

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones
•
Cuando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente
•
PASAJES MUY VENTAJOSOS
•
Para informes dirigirse a:
Osaka Syosen Kaisya
Diagonal Roque Sáenz Peña 616. - 2.º piso

PAGINA DE ACTUALIDADES

EL PROXIMO CONGRESO MUNDIAL DE EDUCACION SE REUNIRA EN RIO DE JANEIRO

Informaciones de Río de Janeiro anuncian que el gobierno del Brasil aceptó la sugestión de la Federación de Asociaciones Mundiales de Educación, que tiene su sede en Washington, para realizar en 1939 en Río de Janeiro la 8.ª Conferencia Mundial de Educación.

El año pasado, en víspera de la 7.ª Conferencia que se realizó en Tokio, Japón, el presidente de la Federación citada, Dr. Munroe, había escrito al conocido educacionista, señor Ernesto Nelson, de Buenos Aires, exhortándolo para que hiciese lo posible a fin de que la Argentina concurreniera a la reunión de la capital japonesa, proponiéndole que la próxima reunión se realizaría en Buenos Aires; también hizo las gestiones del caso un agente cultural del Japón, en nombre de la Asociación Japonesa de Educación, ante las autoridades argentinas para que enviaran delegaciones, que no tuvo el éxito esperado, mientras que el Brasil, Chile y Perú mandaron sus delegados.

La Argentina ha perdido, pues, la oportunidad de reunir esta vez un núcleo de representantes mundiales versados en la cuestión tan importante como la educación.

EL MINISTRO DEL JAPON PRESENTO CREDENCIALES AL PRESIDENTE DEL PARAGUAY

El Ministro del Japón, señor Iwataro Uchiyama presentó el lunes 6 del corriente las cartas credenciales de S. M. el Emperador del Japón al Excmo. señor Presidente del Paraguay, quedando reconocido en calidad de Enviado Extraordinario y Ministro Plenipotenciario del Japón ante el gobierno del Paraguay.

El Ministro, en comitiva, regresará el próximo domingo a Buenos Aires.

EN HANKOW SE PREPARAN PARA EL CASO DE SU CAIDA

SHANGHAI, 8. — Como si las autoridades chinas de Hang-Kow previeran la próxima caída de ésta, se adoptaron varias medidas para ese supuesto caso. Entre éstas, las siguientes son las más elocuentes demostraciones del estado caótico de la referida ciudad:

a) En las tres ciudades, a saber: Hangkow, Wuchang y Hanyang todos los medios de comunicación y transporte, inclusive los automóviles y los botes, estarán bajo el poder absoluto del gobierno.

b) Todos los establecimientos de la enseñanza primaria se clausurarán en el mes de junio.

REINA TRANQUILIDAD EN KAIFENG

SHI-KIA-WANG, 8. — Cuando la ofensiva japonesa de Kaifeng, al entrar tras los muros de la

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores catés que se importan del Brasil, tostados y con un 10 ojo de azúcar abrigantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se exponen, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SANT.

ciudad fortificada, ella estaba desierta, pero desde el día de la ocupación japonesa de la misma, los refugiados volvieron poco a poco a ésta, retornándose al estado normal la actividad comercial y civil.

Sobre la vida y bienes de los 20 norteamericanos, 10 ingleses y 10 italianos, todos misioneros, no hay ningún motivo de preocupación, pues ellos se hallan bajo la protección la absoluta de los soldados nipones.

CHINA ESTA DERROTADA

SHANGHAI, 8. — Con la caída de la línea fortificada de Lung-Hai, el conflicto armado de China y Japón, llegó a su fin. El jaetancioso Mariscal Chiang-Kai-Shek, impulsado por la prédica interesada del comunismo raso y la incitación de otras potencias que buscaban el dominio económico de China, provocó un conflicto a Japón que empezó con el ataque a los soldados japoneses en Peiping el 7 de Julio de 1937 y que está por terminar después de haber perdido China 750.000 hombres y haber tenido 1.750.000 heridos.

LOS CAUDILLOS CHINOS SE DIVIDEN

SHANGHAI, 8. — La coalición de caudillos y generales chinos que presidía el Mariscal Chiang-Kai-Shek, se ha dividido y el general Li-Shung-Chen, que era el comandante de la plaza de Suchow, se dispone a retirarse con sus tropas a su provincia natal de Kwangsi.

HAY ANARQUIA ENTRE LOS CHINOS

TOKIO, junio 8. — El conflicto Chino-Japonés, que se originó hace quince años, cuando se inició la educación de las nuevas generaciones chinas en su odio a Japón, de acuerdo con la táctica del comunismo ruso, se va acercando a su fin. Por informaciones procedentes de Shanghai, se sabe que existe una profunda anarquía en retaguardia, como consecuencia de los últimos desastres chinos y, que unos jefes acusan a otros de deslealtades y de haber desencadenado el actual conflicto con Japón.

ACTIVIDADES MILITARES

SHI-KIA-WANG, 8. — El ejército triunfante de la batalla de Kaifeng avanza con rumbo al oeste a lo largo del F. C. Lung-Hai, llegando a las 14 de hoy a la fortaleza de Chung-Chow, situada entre Kaifeng y Chengchow. La noticia de la caída de la misma fortaleza llegó poco después, completándose con esto, el sitio de Cheng-Chow.

SHI-KIA-WANG, 8. — Se descubrió la cobarde huida del comandante en jefe de las fuerzas chinas de Cheng-Chow, general Hu-Tsung-Nang. La desorganización del ejército chino fué seguida inmediatamente a esta noticia, y los soldados chinos huyen desordenadamente hacia el oeste y hacia el sur. Más de 200.000 soldados que contaba el ejército chino, se redujeron a menos de la mitad.

SHANGHAI, 8. — Los ataques aéreos japoneses sobre Cantón continúan sin cesar. Varias baterías antiaéreas, fábricas militares, arsenales y el aeródromo de Tienkiang sufrieron considerables pérdidas.

PEKING, 8. — La escuadrilla Nakasono de la aviación militar japonesa voló a lo largo del F. C. Nanking-Hangkow, bombardeando varios puntos importantes, y Chengchow sufrió grandes daños al ser atacado por esta escuadrilla. La escuadrilla Hironaka destruyó la estación oeste de Loyang y fué al encuentro de la aviación china hasta el aeródromo de la misma pero como no saliera ningún aeroplano, pues sólo dos abandonaron la tierra y huyeron hacia el oeste, bombardeó intensamente sus instalaciones militares.

CONTINUA EL BOMBARDEO AEREO

SHANGHAI, 9. — La aviación naval japonesa ha iniciado una serie de ataques nocturnos contra la ciudad de Cantón, sus afueras y el F. C. Hangkow-Cantón, ocasionándoles considerables daños materiales.

HANKOW, DESOLADOR

SHANGHAI, 9. — La desaparición del gobierno central chino ha provocado de inmediato la situación caótica de las tres ciudades de Hangkow, Wucheng y Hanyang. El trágico y triste aspecto de la ciudad de Hangkow, es dantesco. Los refugiados que llegan a ésta y los habitantes que tratan de huir de Hangkow luchan furiosamente entre ellos, ya sin saber ni pensar contra quién.

CANTON, CIUDAD MUERTA

HONG-KONG, 9. — En la ciudad de Cantón, que hasta hace poco contaba 1.200.000 habitantes, quedan sólo 80.000 soldados, convirtiéndose en una ciudad muerta. En las instalaciones de la defensa aérea de Cantón, están concentrados los más modernos adelantos de la ciencia bélica y la lucha entre ambos bandos, que se viene desarrollando hace varios días, da una visión de la guerra ultramoderna jamás presenciada por la humanidad hasta ahora.

SE ACERCA EL FIN DE LAS HOSTILIDADES

Tokio, 9 de Junio. — El conflicto chino-japonés que tuvo como causa ostensible la emboscada tendida en los alrededores de Pekín, a un grupo de soldados japoneses, está a punto de llegar a su término. En el año que lleva el conflicto, los ejércitos japoneses se han apoderado de Peking, Tientsin, Shanghai, Suchow, Nanking, la península de Shang-Tung y en los actuales momentos puede decirse que dispone de toda la red ferroviaria china pues Cheng-Chow, que es el punto de enlace, de los ferrocarriles que corren de este a oeste y de norte a sur, está a punto de caer en manos del ejército japonés.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolija - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

EL EJERCITO CHINO ESTA BATIDO

SHANGHAI, 9. — Los observadores militares extranjeros que miraban con simpatía la resistencia china al ejército japonés, reconocen que el ejército chino está totalmente batido y que ya poco o nada se puede esperar, ya que a los últimos contrastes es necesario añadir los celos y las envidias que separan a los generales chinos, circunstancia que se ha acentuado a raíz de los últimos acontecimientos.

EFFECTOS DE LOS BOMBARDEOS

HONG-KONG, 9. — Los ataques aéreos de la aviación militar japonesa se intensifican día por día. No queda ninguna instalación militar en los alrededores de Cantón, que no hayan recibido por lo menos algunas bombas japonesas. La estación Wongsha fué destruída totalmente y los edificios del estado mayor fueron deshechos en su mayor parte.

CONDICION DEL EJERCITO CHINO

NEW YORK, 9. — Debido a las continuas derrotas, se hace cada vez más difícil la reorganización del ejército chino. Las informaciones recibidas de Hangkow hacen saber que después de la caída de Nanking y la disminución del ejército regular fué notable hasta el punto que actualmente una tercera parte del mismo está formada por hombres sin ninguna instrucción militar especial, que difícilmente manejan las armas modernas. De estas circunstancias se deduce lógicamente que si los chinos no consiguen mantener a raya al ejército japonés, fuera de las zonas densamente pobladas, por lo menos 6 meses, la reorganización del ejército chino se tornaría casi imposible.

EL GOBIERNO SE TRASLADA NUEVAMENTE

SHANGHAI, 9. — Ante la inminencia del peligro que corre Hangkow, el gobierno nacionalista chino ordenó hoy, 9, el traslado de las instituciones político-administrativas de ésta a las ciudades de Chungking y de Lungming.

Con este desmembramiento, el gobierno nacionalista de Chiang-Kai-Shek, de hecho y de nombre, ha venido ser un gobierno local.

HUYEN LOS SOLDADOS CHINOS

KEIFUNG, 9. — Ante la imposibilidad de resistir el formidable empuje del ejército japonés, los chinos huyen precipitadamente de la región de Kaifeng; pero antes destruyeron las esclusas del Río Amarillo, lo que significa inundar la extensa llanura de Kaifeng y destruir todos los establecimientos agrícolas-ganaderos, por lo que los habitantes de la región tendrán que soportar el suplicio del hambre. Este hecho ha provocado la indignación no solamente de los habitantes chinos sino también de los extranjeros residentes.

JAPON, MODELO DE PAIS LEGALISTA

WASHINGTON, 9. — En una encuesta que ha realizado la Asociación de Abogados de Estados Unidos se ha comprobado que Japón es el país del mundo donde se registran las menores evasiones a la ley, constituyendo un modelo de país legalista.

Sastrería japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

RETIRO DE LA EMBAJADA CHINA DE TOKIO

TOKIO, 7. — El Encargado de Negocios de China en Japón, ha informado al Ministerio de Relaciones Exteriores que se retiraba de Tokio con todos los miembros de la Embajada, debiendo embarcarse el día 11, a bordo del vapor "Empress of Canada", para China.

El representante del Ministerio ha declarado públicamente que el retiro de la embajada china obedece a las órdenes del gobierno de Hankow, sin que haya intervenido para nada el de Tokio.

AUDICION JAPONESA DE RADIO PRIETO

Las audiciones japonesas que Radio Prieto difunde los martes y viernes, se popularizan.

Las transmisiones se ejecutan a las 19.45 horas.

CIFRAS DEFINITIVAS DEL CENSO GANADERO

MONTEVIDEO, junio 9. — Se han dado a conocer las cifras definitivas del censo ganadero realizado en el país.

El total de bovinos llega a 8.296.890, lo que acusa un aumento de 16.40 por ciento sobre el censo practicado en 1930, y el de ovinos alcanza a 17.931.327, que da una merma del 12.78 por ciento con referencia al citado censo de 1930. — (U. P.).

CARACTERISTICAS DEL PUEBLO JAPONES

1. — **Lealtad y Patriotismo.** Para el pueblo del Japón, la lealtad al Emperador y el amor por la Patria, es una misma cosa. La nación está considerada como una familia grande, cuyo jefe es el Emperador.

2. — **Amor por la Pureza y la Limpieza.**

3. — El japonés tiene gusto por las cosas hermosas y tranquilidad, al propio tiempo que valora el heroísmo y la actividad.

4. — El japonés no tiene miedo a la muerte.

5. — Nuestra observación es intuitiva, más bien que científica. El pueblo entiende por intuición, por contacto directo más que por investigación y análisis.

6. — El japonés es sensitivo y alerta.

7. — Posee el poder imaginativo, ligero, para observar e imitar.

8. — Tenemos un gran amor por la naturaleza.

9. — El japonés es habilidoso, tiene mano diestra.

10. — Está acostumbrado a cosas pequeñas y en pequeña escala.

11. — Nuestro gusto está en cosas sencillas en vez de las complicadas; por elementos puros y no mezclados.

12. — Somos reservados.

13. — El alma japonesa es noble y galante.

INFORMACIONES SOBRE LA XII OLIMPIADA DE TOKIO, 1940

Sede del comité: Edificio Mantetsu, Tokio, Japón.

Estadio de Ciclismo

a) Estadio Municipal de Tokio, de Ciclismo, de Shibaura (Tokyo Municipal Cycling Stadium).

b) Dirección: N° 9, Shibaura, Shibaku, Tokio.

c) Localidad.

i) El este confronta la Bahía de Tokio, con pla-

nes para construir un muelle para facilitar comunicaciones marítimas con Yokohama.

i) El oeste confronta el canal y la estación Shinagawa.

3) El norte se une al camino que conduce al centro de Tokio (Ginza).

4) En el sud hay terrenos baldíos.

d) Curso de Ciclismo.

1) 500 m. track, ancho 9m incluso 1m de zona neutral en la parte interior.

2) Grado del ángulo del track:

Rectas 1/15grados.

Curvas..... 25 a 50 grados.

3) El punto más elevado de la curva sobre tierra es 5.40 metros.

4) Superficie asfaltada.

5) Las curvas son semi-círculos de 50 ms.

6) Una barrera de madera será construída alrededor del track.

7) La velocidad máxima posible será construída alrededor del track.

7) La velocidad máxima posible en el curso es de 170 kms. por hora. La velocidad proporcional del curso, 70 kms. por hora.

e) Campo:

1) En la parte interior del Track de Ciclismo se construirá un curso de Track y Field similares al de los estadios de Berlín.

f) Tribuna para los espectadores.

1) Un sitio enespado inclinado, con 5.40 de altura; y con el presupuesto asignado, se construirá una barrera de madera. Sitio para 10.000 personas.

g) Iluminación:

1) Se instalará iluminación para habilitar carreras nocturnas.

h) Otros equipamientos:

1) Se construirán tribunas para jueces con divisiones de vidrio en el punto final.

2) Las entradas y salidas se colocarán a ambos lados del home stretch y se comunicarán con las tribunas de los oficiales por pasajes subterráneos

3) Placas eléctricas para scores serán instaladas.

4) En las afueras del field se colocarán 6 aspersorios.

5) Asta para banderas, piezas para I. O. C. oficiales, periodistas, atletas, baños, departamento médico, de reparación y depósitos se situarán debajo del estadio principal.

i) Gastos estimados:

1) 600.000 yens.

j) Comunicación:

1) 10 minutos de ómnibus desde Tamachi o tren eléctrico desde Shinagawa, o automóviles hasta Ginza.

CAERA HOY CHENG-CHOW

Los críticos militares extranjeros estiman que los japoneses ocuparán hoy jueves 9 a Cheng-Chow. Agregan que varios destacamentos nipones en la zona de esa ciudad coparon a unos 150.000 hombres del ejército provincial chino que se defendían en una acción de retaguardia, mientras el cuerpo principal se retiraba hacia las montañas. Según las informaciones que poseen esos críticos, la retirada de los chinos hacia el oeste fué cortada por los nipones en la orilla norte del río Hwang-Ho.

Informaciones de origen chino hacen saber que a lo largo de la carretera de Weichwang a Changko, al sudeste de Cheng-Chow, se libró una sangrienta batalla entre fuerzas de caballería. Se agrega que una vanguardia japonesa perteneciente a la 14ª división avanza lentamente hacia el oeste, a lo largo de ambos costados de la línea férrea fortificada de Lungai.

KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional

T O I O — J A P O N

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 16 a 18 horas en la secretaría del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 1436.

Música Japonesa

(Continuación)

Traducción de VIOLETA GLADYS SHINYA

La música del Koto, se escucha en los hogares de las clases media y alta; es, especialmente, música femenina. La fuente de esta música es común con la del "chanson", del año 1500, en las postrimerías del período de Ashikaga. Fué popularizada especialmente por los cantores ciegos, y legada por ellos a sus discípulos ciegos. Además de estos músicos profesionales, el aprendizaje de esta música de koto fué casi exclusivamente limitado para las mujeres. Esta música se encuentra hoy difundida en todo el territorio como la principal música del hogar.

El coto es una especie de tímpano que derivó de un instrumento usado en el Gagaku, la música de la Corte. Es un instrumento hueco, oblongo, de madera, con treinta cuerdas de seda. Se toca con la mano derecha y con plectra en los dedos. Proporciona un acompañamiento musical para cánticos rítmicos. Esta música es de compás regular y se ejecuta sin depender del carácter del canto que se emite. Es, pues, la forma musical más sencilla para ser apreciada por los extranjeros.

La música del koto se unió a la del samisen, más o menos en lo que podría llamarse el período medio de su desenvolvimiento. Los cantos del samisen, solos, se llaman "vivta", y se popularizaron más en la región de Kwansai. La música armonizada del koto y el samisen fué, gradualmente, generalizándose y, a éstos luego se sumó el kokyú

o violín japonés de tres cuerdas, formándose así un trío. El kokyú, desde los años de Meiji (1868-1912) fué reemplazado por el shakuhachi o instrumento a viento, de bambú; de donde, la combinación hoy en boga de estos tres instrumentos: koto, samisen y shakuhachi.

Tal dúo o trío no es un conjunto instrumental, pero sí es, generalmente, el acompañamiento para un canto.

El instrumento utilizado como acompañamiento para los cantos de las "geisha girls", como fueron introducidos al extranjero, fué acompañado por el samisen. Este instrumento fué introducido de las islas de Loo-choo, alrededor del 1650. Puede ser descrito como un banjo rectangular de tres cuerdas. Es un instrumento muy sencillo, pero se aviene mucho al canto y voz japoneses y es utilizado en todo el territorio. Puede decirse que hoy, desde los grandes teatros de la capital hasta las más sencillas casas de té que se encuentran diseminadas en todo el archipiélago; desde la festividad del oratorio de la aldea hasta los hogares, el samisen dona, generalmente, su música. Sin mencionar a los músicos profesionales, puede asegurarse que todo aquel que ama a la música es un diestro tocador del samisen. Dado que la música del samisen es la música de la calle, la música de la fantasía popular, es, naturalmente, la primera que llega a oídos del viajero que arriba a esta tierra. Su verdadera naturaleza, empero no es tan fácil de captar, pues su verdadero valor puede residir en el contenido de la canción, o quizá en la especialidad de técnica delicada de la voz y, ambos elementos son algo difíciles para que los extranjeros la aprecien. La música del

"Samisen" puede a "grosso modo", dirigirse en dos grupos. Uno, incluiría antiguas baladas, tales los de los cantores profesionales y las "geisha girls" de las grandes ciudades el cantar popular de la campaña. El otro, comprendería a las baladas de naturaleza literaria o dramática, sería la música de los teatros.

La música de "Samisen" adelantó desde 1500 aproximadamente, siguiendo su desarrollo durante el período de Tokugawa (1603-1867). Durante esta época, algunas escuelas desaparecieron y otras adquirieron nueva fuerza, pero aún hoy, mantiene firme su popularidad.

La música extranjera que fuera introducida al principio de la época de Meiji (1868-1912) fué gradualmente difundiendo y es hoy un fuerte rival de la música tradicional japonesa. Su introducción data de hace media centuria pero, hoy tiene un lugar preponderante, sobre todo en el gusto progresivo de las gentes de las clases intelectuales. La razón capital de este rápido avance, puede encontrarse en la adopción de músicas occidentales por los forjadores de los sistemas educacionales; también se utiliza la música occidental en las bandas de marina y el ejército.

Difícilmente puede esperarse, que todo el pueblo, empero, sepa apreciar a la música en la forma occidental, así se nota que en los programas de las estaciones radio-difusoras, ambos estilos son regularmente incluidos — nuestra música nativa y aquella que nos llegara allende los mares. Hay ahora, evidentemente un esfuerzo por hacer armonizar ambas tendencias en cierta forma y extensión.

(Continuará).

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904 SARMIENTO 470 BUENOS AIRES</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 33-5469-2981</p>	<p>F. KANEMATSU y Cía. Ltda. Importaciones y Exportaciones JULY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 33 Avda. 5744</p>
<p>H. KATO Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cía. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31 - 8601 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4637</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepillería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 321P</p>	<p>IIDA y Cía. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 33-2683</p>	<p>S. KAISEKI Representante de DAIDO BOEKI KAISHA LTD. Kobe, Japón Importación y Exportación VENEZUELA 1034 - BUENOS AIRES U. T. 38 - Mayo 7286</p>
<p>KATSUDA y Cía. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>N. HARA y Cía. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437</p>	<p>S. ANDO y Cía. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>NAOJI SAITO BUENOS AIRES BOEKI ASSENJO ROQUE S. PEÑA 616 - 7º PISO U. T. 33 - 1452</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-3413</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. — U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-0978 CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 616. 7o. Piso. — U. T. 33, 1452. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Via monte 1435. ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. — U. T. 23-4993. COMPARIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PEÑA 616 - 2º Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 3565</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cía. CANGALLO 499 3er. Piso Esq. N.º 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4081</p>	<p>TARO MURAI Única Casa Introdutora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-3189</p>	<p>K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 U. T. 33 - 8256</p>	